

神田川流域河川整備計画（変更原案）へのご意見等について

（洪水対策に関すること）

整理 番号	ご意見・ご提案（要旨）	回答
1	<p>流域を細かく区切り、小さめの調節池を作っ て、かつ親水テラスのようというのは大変素晴 らしい構想だと思います。実行に移すのは大変な 時間と労力・予算を必要とすることは分かってい ますが、ぜひ実施してほしいと思います。</p>	<p>本計画に基づき、着実に進めていきま す。</p>
2	<p>取水施設を3か所にするにより一層の安全 度の向上が期待できます。</p> <p>ただし、トンネル式の調節池建設により周辺 の土地の地盤沈下という別のリスクが生じる可 能性があります。計画に当たっては地域住民と の丁寧な合意形成をしてください。</p> <p>また取水施設の計画づくりには市民の意見 を取り入れる仕組みをつくり、平常時にも河 川の景観を阻害しないデザインにしてくださ い。</p>	<p>整備に当たっては、河川管理上支障のな い範囲で地域の意向反映に努めていきま す。いただいたご意見は、河川整備に関す る貴重なご意見として参考にさせていただきます。</p>
3	<p>将来的に流域全体で1時間あたり100mm規 模の降雨に対応できるよう治水水準の向上を 図るとなると、ますます護岸整備の堅牢化が 予想されるため、親水性に配慮して欲しい。 親水性ある緩傾斜の護岸作り、親水公園の 確保、川沿いの企業と協力しオープンテラス の設置等を進めて欲しい。</p>	<p>護岸や調節池の整備にあわせて、可能な 箇所において関係機関と連携して、公園等 のオープンスペースと一体的に地域住民の 憩いの場として河川空間の親水化を図りま す。</p>
4	<p>側道は景観の大きな要素で幅員が片側4メ ートルは必要である。一部の区間は親水でき る側道の路肩を設けるのは景観上必要であ る。4メートルの大きな幅員を確保するこ とは考えられないと即座に決めることがな いようお願いしたいと思います。</p> <p>側道拡張は河川の洪水対策にも当然役立 つこととなります。より具体的な計画を 是非織り込むようお願いいたします。</p>	<p>原則として河道整備にあわせて河川管理 用通路を設けることとしています。幅員に ついては、基準や現地状況等を踏まえて設 計していきます。</p>

整理 番号	ご意見・ご提案（要旨）	回答
5	洪水調整として、調節池への流入量など河川水位を見ながら堰の高さなどの調整ができるような施設になっているのですか？	堰の高さについては、計画の調節流量を効率的に取水できる構造となるように設定しています。
6	既存の施設の効率的運用計画などの考え方は？（洪水対策として）	
7	<p>合流式下水道の改善が進まないで「地域ダム構想」を提案します。</p> <p>善福寺川上流域-特に川に隣接する住宅地に住む人は、戸建ての敷地、集合住宅の敷地から雨水を外に出さない、という仕組みを作っていただきたい。敷地の周囲にブロックあるいはレンガを置いて雨水が道路に流れ出ないようなバリアードを作ってやる。どんなに雨が降ってもそれをやると雨は1日しないうちに浸透します。これは地域ダム構想であり、都市型流域治水です。</p> <p>もっと言えば、建物の角にある雨どい。例えば4本あるうちの1本だけ地面の上部で切って敷地内に雨水を逃がしてやる。下水管につなげなければ、河川への負荷が25%も減ります。</p> <p>こういった地域ダムづくりには当然助成金はありません。しかし、こういうことに取り組もうとする住民に対して何か還元する仕組みがあると取り組みは進みます。そこは施策づくりのプロにお考えいただきたいと思います。</p> <p>これは、善福寺川上流調節地を作るより大きな効果があり、税金の投入が少なくてできることです。調節地を作る計画に加えて地域ダム構想も是非ご一考ください。</p>	<p>「神田川流域豪雨対策計画（改定）（平成30年3月策定）」に基づき、公共施設や一般家庭などにおいて、各自治体や流域住民の協力のもとに貯留・浸透施設の設置を進め、洪水対策や地下水涵養を図っていきます。また河川、下水道の整備と流域対策などを連携して実施することにより、総合的に豪雨対策を進め、神田川流域の関係各区市において浸水対策を実施していきます。</p>
8	<p>気候変動・気象危機がもたらす多雨化による水害は、現状の整備計画で対応できるのでしょうか。神田川流域の問題は、河川沿岸の整備だけで片付かないのではないのでしょうか。河川と合流式下水道の関係、流域全体の高被覆率および高密度な土地利用による雨水浸透性の低さと更なる都市</p>	

	化による更なる温暖化・気候変動の激化など近 因・遠因が考えられます。河川を整備しても東京 (神田川流域)のまちづくりの拡大傾向が続けば リスクも際限なく高まります。流域全体のまちづ くりの基盤に「土地は利用するだけの対象ではな く保全の対象である」という考え方を据えること で神田川河畔まちづくりが成立すると考えます。	
9	流出抑制しての流域新築住宅、公共施設での浸 透、貯留などの対策は？	

(河川環境に関すること)

整理 番号	ご意見・ご提案(要旨)	回答
10	現在、国土交通省を中心に「小さな自然再生」 が全国で展開されています。都市河川での「小さ な自然再生」は難しいと考えられていましたが、 日本河川・流域再生ネットワークが主催で2021 年11月14日に善福寺川下流において「小さな自 然再生」現地研修会が開催されました。このよ うな取り組みが神田川、善福寺川全体で展開され べきと考えています。是非、「小さな自然再生」 のさらなる実施を整備計画に盛り込んで頂きたい です。	本計画では、動植物が生息・生育・繁殖 しやすい河川環境を形成し、本来の川らし い自然環境の保全・再生を目指していくこ ととしています。
11	善福寺川上流域には遅野井川が再生され、子ど もたちを含む市民の貴重な水辺となっています。 善福寺川中下流にはそのような水に親しめる水辺 が少なく、善福寺川上流調節池(仮)の整備に合 わせて本流や調節池上部空間にも身近な水辺を再 生いただきたいです。また取水施設の計画づくり には市民の意見を取り入れる仕組みをつくり、平 常時にも河川の景観を阻害しないデザインにして ください。	整備に当たっては、河川管理上支障のな い範囲で地域の意向反映に努めていきま す。いただいたご意見は、河川整備に関す る貴重なご意見として参考にさせていただきます。

整理 番号	ご意見・ご提案（要旨）	回答
12	<p>上流部（源流部・夕やけ橋～丸山橋の間）は貴重な植物（ミクリ、ナガエミクリ、カワヂシャなど）や藻類（カワモズク類）の生息する場であり、野鳥の餌場・生息場となっています。これら貴重な生き物たちの保全の為にはこの区間だけは掘削を避ける方法とはれないもののでしょうか。掘削が避けられない場合には土壌ごと保全の対策や希少種が生存できる方法を採用してほしいです。</p>	<p>計画高水流量を安全に流下させるため、未改修区間の河道の拡幅、河道内の掘削を行います。なお、整備を行う際は、可能な範囲で動植物の生息・生育・繁殖環境に配慮した河床整備を行います。</p>
13	<p>都立善福寺公園は2つの池(上池、下池)がありますが、ほとんど湧水はないと言われており、数か所から地下水をポンプアップして池の水を確保している状態です。2018年、上池と下池をつなぐ水路「遅野井川親水施設」が杉並区によって整備されました。子どもたちにとって、外で遊べる格好の遊び場になってにぎわっています。水量を調整されているため、大人のくるぶし程度までしか水がありません。水辺で遊ぶには、また生き物の生息を考えると水深20cmは欲しいところです。</p> <p>千川上水が地中管で公園内を通り、下池の池尻に流れ出ています。地中管を遅野井川親水施設の最上流部分に入れていただきたいと願うものです。そうすれば旧遅野井川筋(暗渠)を通った水は下池の池頭に出ます。下池の水質改善のためにも役立つものと考えます。</p>	<p>いただいたご意見は、関係機関と共有させていただきます。</p>
14	<p>善福寺公園内の上池と下池の間に流れる遅野井川が再生され、善福寺川上流域の貴重な水辺空間となっています。また、上池と下池、そして遅野井川を含む緑地空間は河川への流出抑制にも貢献しています。しかし、その遅野井川も未だ下流側は暗渠となっており、開渠化することも是非、整備計画に入れて頂きたいです。合わせて当地の人たちに親しまれていた「よしきりはし」の復活も提案します。</p>	<p>本計画における整備の対象区間等は、法定河川区間としています。いただいたご意見は、関係機関と共有させていただきます。</p>

整理 番号	ご意見・ご提案（要旨）	回答
15	<p>希少在来植物の保護にも、侵略的外来植物の防除にも、調査を行い、その結果を元に適正な対策をすることが欠かせないので、ぜひ定期的な調査と評価を行なってほしい。これまで、植物調査をしている都の期間の職員を見かけることがあり、カワヂシャが絶滅寸前であることを把握していたはずなのに、保護対策が何も行われなかった。</p>	<p>良好な河川環境の維持管理を図るために、動植物などのモニタリング調査を実施し、その結果を施策に反映させます。</p>
16	<p>p.22【植物】と p.23 の表「表 2-5 主な生物確認状況」に、外来植物のオオカワヂシャとオオブタクサが記載されていないので、追加してほしい。</p>	<p>ご意見の通り、追加しました。</p>
17	<p>計画全体に、神田川の「緑化」＝「桜並木」という印象を受けますが、日本の自然はもっとバラエティーのある豊かなものですから、桜に限定してしまうのは如何なものでしょうか。例えば、イロハモミジだとか、中国原産ではありますが日本に古くからあるキンモクセイであれば親しみやすくしかも常緑で一年を通じて緑を楽しめます。桜以外の樹木も採用して下さい。</p>	<p>管理用通路や護岸等について、河川管理や治水安全性との整合を図りながら、動植物の生態系や景観に配慮して、可能な範囲で護岸の緑化を行います。その際には、整備形態について地元自治体や地域住民と意見交換を行い、地域の実情やニーズに配慮していきます。新たな植栽については、貴重なご意見として参考にさせていただきます。</p>
18	<p>「神田川河畔まちづくりの考え方」P.5 護岸緑化 護岸面をつる性植物等を植えることにより、緑豊かな水辺を目指す。 つる植物は侵略的なほど強いものが多く、特に現在多く採用されているノウゼンカズラの暴れ方は目に余るものがあります。落葉樹ですから、冬場には緑化どころか汚らしさすら感じます。垂直護岸に棚を作るなどして、常緑のシダ類で緑化しては如何でしょうか。護岸に棚を作って植栽するのは費用面で難しいかもしれません。沿道からつる植物を垂らすのであれば、せめて常緑の在来種を選んでください。</p>	
19	<p>「護岸緑化」につる植物を生やすと書いてあり、現在のあしはら橋～丸山橋間には外来つる植物のノウゼンカズラが多数使用されている。ノウゼンカズラは繁殖力がとても強いので、他の植物を圧</p>	

	倒し、景観も威圧感を感じるほどになっている。 護岸緑化には在来のつる植物やシダ植物やコケ植物などを用いてほしいです。	
--	---	--

(河川の利用・維持に関すること)

整理 番号	ご意見・ご提案 (要旨)	回答
20	p.18 神田川平常水量については、赤数値は放流、導水量を含んでいる値ですか？	放流、導水量を含んでいる値です。
21	流水の正常な機能を維持するために必要な水量を測定・設定する必要があると思います。玉川上水の水源を多摩川上流水再生センターの高度処理水に代わり多摩川の水を引き入れることも検討課題となると思います。	流水の正常な機能を維持するために必要な水量については、今後、動植物の生息・生育環境、流水の清潔の保持、良好な河川景観の確保などの観点を踏まえた必要な流量の設定に努めていきます。
22	観光資源として、水に親しむため、また災害時対応として舟運の復活を期待したい。そのためには具体的な運行ルートの策定、船着場の整備計画が必要となると思います。	都では防災船着場整備計画に基づき、船着場を整備しています。いただいたご意見は、関係機関と共有させていただきます。
23	川沿いに設置している不法投棄禁止などの制札板（注意看板）は、古びて効果が薄れる前に更新してほしい。ポロボロの制札板を見てもやる気が感じられない。	河川管理施設等を良好な状態に保ち、その本来の機能が発揮されるよう、適切な維持管理に努めます。
24	下水の合流方式を分流式に完成させることを早期に具体策を明確化しどこをいつまでに完成させるか明記すべきです。 また水質の問題はSDGsの17の目標の中に 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任、つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさを守ろうに に 関係することであり、計画にSDGsの項目計画にいれるのは大変難しいかと推察しますが文中に織り込む方法があるかと思います。 最後に『神田川・治水第一これからは環境・景観を重点に！』	水質については、地域及び関係機関と協力連携を図ることで、合流式下水道の改善、生活排水、ごみ問題、外濠や各河川の浄化対策等を推進し、水質の維持・向上に努めていきます。

整理 番号	ご意見・ご提案（要旨）	回答
25	<p>神田川上流の柵を河川に親しむためには変更して欲しい。</p> <p>現在のフェンスは高さが 1,300mm あり、女性や子供や背が低い人には川を覗き込むことができないので、高さ 1,100mm ではダメなのか。</p> <p>また、縦柵の奥行きが深いため、少し斜めから見ると一面に白い壁があるように見えるだけであり、丸棒ではダメなのか。</p> <p>上流部には貴重な生き物たちが生息している観ることで親しみを覚えるのと川を見ることでゴミのポイ捨ても減ると思う。</p>	<p>転落防止柵については、基準や現地状況等を踏まえて設計しています。今後の更新の際にはデザインも含め、適切に設定していきます。</p>
26	<p>水深の浅い上流部において、神田川の清掃作業を民間ボランティアとして何度も行い、下水吐口の前にトイレ用品等が落ちているものを見ました。神田川上流部は都立井の頭恩賜公園のトイレからの下水が降雨時に流れ込んでいます。</p> <p>河川管理担当者からこのような状況を改善する為に、公園管理者へ対策を要望され、連携することが必要だと考えます。</p>	<p>河川清掃ボランティアの皆様の活動により、良好な河川環境が維持されています。いただいたご意見は、関係機関と共有させていただきます。</p>
27	<p>流入する下水中の大きな夾雑物を極力減らしてほしい。ゴミ拾い活動をすると、トイレ用品等が見つかる。どこから来ているのか調べて、捨てられのようにする工夫をしてほしい。</p>	
28	<p>神田川の水害を知る人が減り、特に環七地下調節池の整備後は、氾濫危険水位まで増水することが少なくなり、増水時のサイレンを知らない人も多いと思います。ハード面の整備に加えて、サイレンを YouTube で公開する等のソフト面での整備も含めて頂けると、より強固な防災体制を作れるのかなと思います。</p>	<p>現在ソフト対策として、雨量や河川水位の情報を東京都水防災総合情報システムや Twitter で提供しており、YouTube を活用した河川監視カメラ映像も配信しています。いただいたご意見は、洪水時のソフト対策に関する貴重なご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>

(地域や関係機関との連携に関すること)

整理 番号	ご意見・ご提案（要旨）	回答
29	<p>p.42「良好な河川環境の維持管理を図るために、地域住民、NPOなどと連携した植栽管理や河川清掃などを実施するほか、関係機関や市民が実施する調査などにより、動植物などのモニタリング調査を実施し、その結果を施策に反映させる。」と書かれているが、今までのところそういう連携はほとんど行われていない。理想を書くだけでなく、実現するための具体策を考え、実施してほしい。1年に1回でも、河川管理者や町会主催のゴミ拾いを実施すれば、流域住民の神田川への関心と愛着が高まると思います。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、今後も良好な河川環境を維持管理するための取組を進めていきます。</p>
30	<p>東京の都市河川には地域に根ざした「河川協力団体」がなく、市民参加を積極的に進めるうえでも、既存の市民団体等を河川協力団体として積極的に認定してほしいです。</p>	<p>いただいたご意見は、関係機関と共有させていただきます。</p>
31	<p>所轄が「土建屋さん」ということで治水に偏り過ぎていると感じます。生物多様性の面からの整備体制がない。</p> <p>神田川河口付近ではボランティアが外来生物の駆除を行っています。河川は繋がっていて上流から下流に流れているのに自治体や役所で分断されていて、その連携が全くないので何とかありませんか。</p>	<p>本計画は、治水上の安全性を確保するとともに、地域住民と協働して河川環境の向上に努めた川づくりをすすめていくことを基本としています。</p> <p>地域や関係機関との連携については、神田川上流懇談会、日本橋川・亀島川流域連絡会等の場を活用して、地元自治体や地域住民との情報や意見の交換を行うなど、良好なパートナーシップの形成に努めていきます。</p>
32	<p>神田川沿いに位置する区立第三中学校の跡地活用について、中野区とも連携をとりながら未来の東中野のビジョン作りが始まっています。地域住民の対話の中では、心の潤いや安らぎを提供できる場所になるように、住民と行政が協力して育てていければと考えています。</p> <p>今回の東京都の計画の中では拠点整備の対象ではありませんが、p.39にありますように、今後の中野区の計画が進んで行く中で、東京都の立場から</p>	<p>親水性を確保するための取り組みの観点から、図に示した以外の箇所についても、今後計画される事業で河川環境に配慮した整備が可能なものについては連携を図っていきます。</p>

	中野区とぜひ連携を図っていただきたいと思いま す。	
--	------------------------------	--

(その他)

整理 番号	ご意見・ご提案 (要旨)	回答
33	p.23 の表「表 2-5 主な生物確認状況」の「魚 類」で、モツゴが赤字（「我が国の生態系等に被 害を及ぼすおそれのある外来種リスト」掲載種） にされているが間違いではないか。	ご意見の通り、黒字に修正しました。
34	p.38 の中段部分の文書が切れており、読みにく い。	ご意見の通り、修正しました。
35	河川流量の単位 mm/日の意味は？	流域平均日雨量を示していますが、河川 流量の単位を統一するため、本文中の記載 は削除しました。
36	渋谷区は神田川流域に多少入っていますが、本 計画によるメリット恩恵は受けられるのでし ょうか。	本計画は、治水上の安全性を確保すると ともに、地域住民と協働して河川環境の向 上に努めた川づくりをすすめていくことを 基本としています。